

ユネスコってなに？ What's UNESCO?



ユネスコの正式な名前は「国際連合教育科学文化機関」United Nations Education, Scientific and Cultural Organization といい、その頭文字を取って**UNESCO**（ユネスコ）と呼ばれています。

ユネスコが作られた最大のきっかけは第二次世界大戦であり、1946年11月4日、人類が二度と戦争を繰り返さないようにという願いを込め、その活動をスタートさせました。

戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない (ユネスコ憲章前文より)

ESDってなに？ What's ESD?

ESDとは、全ての人々が持続可能な未来の実現に必要な知識、技能、生活態度、価値観を身につけることができる教育・学習を意味します。

ESDでは、気候変動や災害リスク軽減、生物多様性、貧困削減、持続可能な消費など、持続可能な開発を実現するにあたり人類が直面する主要な問題を授業や学習に取り込んでいます。また、参加型の授業・学習の推進を通じて、学習者が持続可能な開発の実現に向けて、自らの習慣を積極的に振り返り、自発的に行動を変容していく力を形成します。その結果、ESDを通じて、批判的な思考で物事を考える力や未来の出来事を想定する能力、協力的に意思決定を行う資質の形成を促進することができるのです。

ESD は、今日の教育・学習のあり方を大きく変えていきます。

ESD 持続可能な開発のための教育 = Education for Sustainable Development



ESD実践 2つの観点

- ① 人格の発達や、自律心、判断力、責任感などの人間性を育むこと
- ② 他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「関わり」「つながり」を尊重できる個人を育むこと



Learning to know ⇄ Learning to do ⇄ Learning to be

ESDの学び方

- | | |
|----------------|-------------------|
| ① 批判的に考える力 | ② 未来像を予測して計画を立てる力 |
| ③ 多面的、総合的に考える力 | ④ コミュニケーションを行う力 |
| ⑤ 他者と協力する力 | ⑥ つながりを尊重する態度 |
| ⑦ 進んで参加する態度 | |



次号は・・・

「ESD→アクティブ・ラーニング」

What(なにを)Why(なんのために) How(どのように)